

龍の子人づくり学習 (ゆめ ・ みらい) 学習 実践記録

中根台 中学校区

中根台 小 中学校

学年 中3年 教科・領域 社会・国語科・総合的な学習の時間 実施期間 7/29～10/14

単元・題材 ◎集団の一員として（総合的な学習の時間）
 ・行事等 新型コロナ感染症対策と自分の生活やこれからの社会について考えさせることを中核にして単元を構成した。龍の子人づくり学習でのワークシート「集団の一員として」を活用して「感染症対策」や「新しい生活様式」をもとに感じていることや考えていることをまとめ、社会科及び国語科の学習と効果的に関連させた。単元を通してグループと個別の学習を効果的に使い分けながら身に付けさせたい。

目 標
 ・これまでの社会の事象から、仲間と意見を出し合いながら、生徒一人一人の主体性や協調性を高める。(つながる力)
 ・学校や社会における問題について自分の考えをもち、正しく行動できる。(こえる力)

【実践】

7/29：社会：学習内容：「日本の高度経済成長」

- ・公害問題と感染症問題を関連付けて学習

7/30：総合：「集団の一員として～コロナウイルス対策」

- ・大切なことは何か
- ・臨時休業中の自分の生活を振り返る
- ・学校生活で守っていききたいこと

8/25：社会：学習内容：「持続可能な社会に向けて」

- ・感染症対策に重きを置くべきか？
- ・経済政策に重きを置くべきか？
- ・東日本大震災と人々のつながり

9/18：社会：学習内容：「公共の福祉」

- ・何でも自由だと感染は拡大する。
- ・公共の福祉と自粛案について考える。

10/13：国語：学習内容：「いつものように新聞が届いた～メディアと東日本大震災」

- ・情報の伝え方と選び方，正しい判断について考える。

学活：学習内容：「新型コロナウイルス感染症に関する差別・偏見について」考えよう

- ・感染症に関する差別・偏見をなくすために必要なことを話し合い，自分が自分が取り組むことについて決める。

10/14：総合：まとめ（個別→グループ→個別）

- ・地域の一員として，感染症対策にどう向き合うか？
- ・コロナ禍の現在の状況から，今後どうしていくべきか？



振り返りを通しての子供の変容・気づき つながる力 (80%) いかす力 (85%) こえる力 (80%)

感染症そして感染症対策について様々な見方や意見がある中，正しい判断をして，自分一人でもできることに取り組むと同時に，周囲への声掛けをしようとする意見が増えた。

【効果があった取組】

- 社会科を通して、世の中の様々な事象と結び付けて学習を進めたことで、感染症対策の意義や課題について多角的・多面的な視点から考えさせることができた。
- 感染症対策は、単に自分が守るだけではなく、相手の立場を考えながら、互いの声掛けや、共通実践のための理解を促していくことも大切であるとする意見も見られた。